



写真:生津 勝隆

令和が始まった今年もまもなく終わろうとしています。皆さまには日頃よりのご支援、心より感謝いたします。今回グリーンバレージャーナル年末特別号として、2019年の2大トピックスをお届けいたします。脈々と継続しておりますグリーンバレーの活動、来年はより頻度高くリニューアルされたジャーナルにてお届けする予定です。どうぞご期待ください。

## TOPIC 1 神山まるごと高専、2023年4月を目指して始動

### 最先端のIT技術と地域の課題、双方に出会える徳島県神山町で新しい高専が2023年開校 教育と地方創生の新しいモデルづくり

2019年6月21日、神山町・町民・民間の3者で構成する「神山まるごと高専設立準備委員会(代表:大南信也)」は、私立高等専門学校「神山まるごと高専」設立プロジェクトを始動させました。知識や技術習得だけではなく社会に変化を生み出す人材を創出することを目的とした「次世代型高専」です。

#### 教育方針は「利己的に学び、利他的に実現する」

神山に集積しつつあるプログラミング・IT・AIといった最先端技術やデザイン・アートに加え、心理学・哲学、論理的思考やディベートなど幅広いカリキュラム構成を予定。そして神山という町全体を学びの実践の場としてとらえ、地域住民や町を訪れるゲストとの協働や在学中の起業体験などを通じて、より実践的な力を身につける探究型学習を学びの中心に置きます。

変化がますます激化する現代においては、既存の課題を受け身で捉えるだけでなく、自ら課題を設定し、決断し、動ける人材こそが重要になると考えます。「神山まるごと高専」では5年という長い時間をかけ、専門性の高い学びを深く究めることによって、学生が学ぶこと自体ではなく、学んだことを自分の武器として扱えるようになることを目的としています。自ら新たな仕事を創り、社会に変化をもたらすことのできる力や起業家精神を持つ「野武士型パイオニア」。そんな人材の育成を目指します。



「神山まるごと高専」プレスリリース  
<https://www.in-kamiyama.jp/diary/39722/>



詳細はこちらをご覧ください。  
<http://kamiyama-marugoto-kosen.mystrikingly.com/>



## TOPIC 2

## 神山アーティスト・イン・レジデンス2019

作家滞在期間 2019/8/28~11/6



▲ 村上郁《プロキオニデスを追う》2019 劇場寄井座 撮影:小西啓三  
インスタレーション(音声:5分ループ/映像:6分42秒ループ)村上郁

神山アーティスト・イン・レジデンス(以下、KAIR)は1999年からスタートした国際的なアートプロジェクトです。毎年国内外から3~5名の芸術家を招聘し、約2か月のあいだ宿泊施設やアトリエなどを提供すると同時に、神山でしか経験できない作品づくりに協力しています。また、この期間外には有料で滞在制作を支援する「ベッド&スタジオプログラム」も実施しており、様々なきっかけで神山に惚れ込んだ作家が自費で滞在制作します。いずれのプログラムも、制作された作品は高い評価を得て、その後海外で展示される機会が多くあります。

KAIRの活動は、芸術作品の展示・制作にとどまらず、地域の人々が世界各地からやってきた作家と触れ合い、神山町の優れた可能性を再確認し、新しい価値観や交流を生み出すことに貢献しています。

21回目となる今年は、オーストリア、日本から3人の作家が招聘されました。神山で暮らし、夏から秋にかけて地域の様々な行事に参加しながら制作を行いました。またリターン・アーティストプログラムとして、2004年度招聘の作家が15年振りに滞在制作を行いました。オープンアトリエ、地元の小中学校での課外授業、作品展覧会など、芸術を介したコミュニケーションの中で老若男女問わず多くの方々と交流を図る滞在となりました。

作品は10/27~11/4、9、10の期間、町内6カ所に展示され、町内外より沢山の方にご来場いただきました。

過去の作品が点在する大栗山には、今年17番目の作品として狩野哲郎の新作が仲間入りしました。これまでの作品と共に期間終了後もご覧いただけます。



この度、2010年~2017年の活動をまとめた報告書が完成いたしました。KAIRは年を追うごとに内容的にも充実度の高いものとなり、国内外より毎年100件を超える応募を得て、住民の手作りによるレジデンスの数少ない成功事例として、全国から熱い注目を集めています。貴重な記録が収められた報告書をぜひご覧ください。1,500円(税込、144ページ、カラー)にて販売中です。お問い合わせ先 MAIL: kair@in-kamiyama.jp / TEL: 088-676-1178

### グリーンバレー新メンバー紹介

はじめまして! 10月1日よりグリーンバレーの移住交流支援業務担当となりました、林大晟(はやしたいせい)と申します。出身は徳島県阿南市です。大学で大阪、就職で岡山に暮らした後、神山に魅了されて移住してきました。移住される方と地域の橋渡しとなれるよう一生懸命がんばります!



### 神山のサポートについて

グリーンバレーの活動は、皆様からのご支援によって支えられています。私達の活動趣旨にご賛同いただき、暖かいご支援をぜひお願いいたします。詳しくは以下のページをご覧ください。

<https://www.in-kamiyama.jp/donation-to-greenvalley>

※グリーンバレーは、認定NPO法人です。お送り頂いたご寄付は確定申告をすることにより 最大半額の税額控除を受けることができます。



発行/お問い合わせ: 認定特定非営利活動法人グリーンバレー  
www.in-kamiyama.jp / MAIL: greenvalley@in-kamiyama.jp  
〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字中津132  
TEL: 088-676-1178

狩野哲郎は町内3会場にて10点の作品を展示しました。  
今回のジャーナルではその中から2会場を紹介します。



▲ 狩野哲郎《Naturplan / 自然の設計》2019 大栗山 撮影:小西啓三  
素材:ミクストメディア(ガラス、木材、石、ファウンド・オブジェ)



▲ 狩野哲郎《Dazzled signs (Kamiyama Camo) / 純粋な標識(カモフラージュ・カミヤマ)》2019 といアート  
撮影:小西啓三 素材:紙にコラージュ、箔、色鉛筆、オイルパステルなど



▲ リナス・リープラー《おわりはじまり》2019 名西酒造 撮影:小西啓三



▲ シャーロット・マックゴワン・グリフィン《ここに留まるもの》  
2004 滝上邸



KAIR2019の招聘アーティストや  
作品についてはこちらから。  
<https://www.in-kamiyama.jp/art/diary/30559/>